

博物館の役割

—集める・保つ・伝える・究める—

今年度の学術交流フォーラムは、前年よりもさらに学生の主体的な企画・立案・運営による事業としての性格が強くなっています。リサーチトレーニング (RT) 事業による国内外の調査をおこなった学生を中心とした口頭発表とともに、ポスター発表も学生中心の成果報告や中間発表の場となっております。また、フォーラムでは、日本歴史研究専攻が置かれている国立歴史民俗博物館が会場となっていることにちなみ、「博物館の役割—集める・保つ・伝える・究める—」というテーマで、各専攻の教員に自己の研究における資料の扱いや公開などの手法を開陳していただき、学生からのコメントによりディスカッションを展開することにしました。さらに、ワークショップでは、テーマの「伝える」ということに焦点を当て、開催中の企画展示「行列にみる近世」や各分野の学生研究を素材にして、一般の人々にどのように効果的に伝える（展示する）かの方策を協働して考える場としたいと思います。

日本歴史研究専攻長 仁藤敦史

開催日：10月21日（日）・22日（月）

会場：国立歴史民俗博物館 大会議室・第2研修室

お問い合わせ

tel 046-858-1583

e-mail soukatsu1@ml.soken.ac.jp（基盤総括事務係）



プログラム

10月21日（日） 13：30～

13：40～ 口頭発表

16：20～ ポスター発表

17：30～ レセプション

10月22日（月） 10：00～

10：00～ シンポジウム

13：30～ ワークショップ

※時間は変更になる可能性があります

会場への交通アクセス

●京成電鉄佐倉駅下車、徒歩約15分またはバス約5分

●JR東日本総武本線佐倉駅下車、バス約15分

ちばグリーンバス田町車庫行き、「国立博物館入口」か「国立歴史民俗博物館」（日曜のみ）下車

※坂の下で下車された場合は、関係者用出入口（坂途中から分岐）からお入りください



※フォーラム参加者には旅費が支給されます。ホテル等宿泊場所の確保は、個人での予約をお願いいたします。詳しくは各基盤学生企画委員・事務へお問い合わせください。